

代替医療

最新ガイド

厚生労働省研究班の調査で

は、アガリクスに次いで、わが国のがん患者で多く利用されているキノコ類がありま

もしれません。ただ、もう一歩踏み込んで読み解いてみると、いくつか今後の課題が残されていることが分かります。

す。AHC Cです。難しい英語の頭文字ですが、わかりやすく言えば、活性化された多糖類関連化合物のことです。さっそく、ヒトでの科学的

この臨床試験では、AHC Cを摂取するかしないかを、患者の希望に任せています。ですから、AHC Cを摂取した患者に認められた効果は、厳密な意味でAHC Cだけに



大野 智

他の因子が、今回の試験の結果に影響を与えている可能性もあります。

た人たちと比べて、再発率や生存率に違いがあるかどうかを長期間にわたって観察しています。

この臨床試験の結果の要点は、以下の2点です。

先駆的な試験例

また、なぜ、AHC Cが患者の再発率や生存率に影響を与えたのかについて、動物実験などでは免疫細胞の活性化などが証明されていますが、今回の試験ではその点の検討が行われていません。

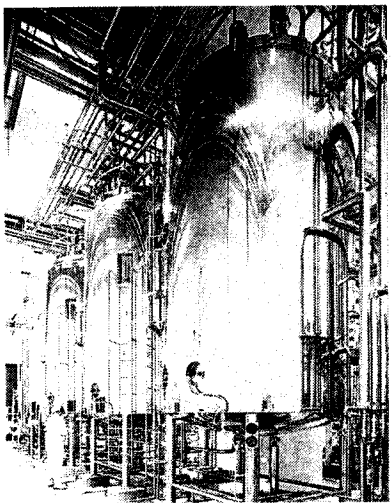
一つ目は、肝細胞がんが手術で取りきれた患者にAHC Cを摂取してもらうと、摂取しなかった場合に比べて、その後の再発を少なくしたり、生存を延長したりできる可能性が示唆されたことです。

それと、今回の臨床試験の結果は、肝細胞がんのデータですので、肺がんや大腸がんなど、他のがんに関しては、今のところAHC Cの効果は分かっていません。

二つ目は、試験期間中に3人の患者が軽度の吐き気を理由にAHC Cの摂取を中断した以外には、AHC Cによると思われる副作用はいっさい認められていないことです。この試験では、113人の患者が最長で9年間、AHC Cを摂取していますので、AHC Cは長期間、摂取可能な安全なサプリメントと言えるか

しかし、今回紹介した研究報告は、がん患者を対象にした長期にわたるサプリメントの臨床試験としては先駆的なものです。今後、さまざまなサプリメントで同様の臨床試験が行われ、患者に正確な情報を提供できる日が一日も早く来ることを望まれます。

(金沢大学補完代替医療学特任助教)



今後の試験が期待されるAHC Cの製造工場